

**Ⅶ その他 2 人事に関する計画**

中期計画	年度計画	実績
<p><b>(1) 方針</b>            本学の人材を活用し、かつ、有能な人材を確保していくことを基本として、柔軟な組織の構築等により、機動的・流動的人材配置を実現するため、長期的かつ計画的な人員配置を遂行する。</p> <p><b>(2) 指針</b>            職員の適性に配慮しつつ適切な人員配置を推進するとともに、評価制度等を確立する。また、本学の戦略により職員の重点領域への配置を図る。            (参考)            中期目標期間中の人件費総額の見込            31,241百万円(退職手当は除く)</p>	<p>総人件費を抑制しつつ人事基本方針に基づき、次の事項を重点に置いて計画する。</p> <p>○教員人事は、本学の教育研究の目標の実現と将来構想に資するため、引き続き人事委員会で人事計画を詳細に審査するとともに、公募において必要とする専門分野・業績を明確にして優秀な教員確保に努める。            また、重点組織・戦略組織には、引き続き学長裁量による教員配置を行う。</p> <p>○事務職員は、勤務成績、経験、能力を総合的に勘案し、年齢・年功にとられない若手、女性の登用を行う。</p> <p>○技術職員は、技術力の継承と将来の教育研究の必要技術を見極めて優秀な人材確保に努める。</p> <p>○豊かな経験・知識及び大学への貢献意識を有する再雇用職員を大学業務の貴重な戦力と位置付け活用を図る。</p> <p>○全教職員について、公平・公正な人事評価に基づく適切な処遇を行い職場の活性化に繋げる。</p> <p>(参考1) 平成21年度の常勤職員数460人また、任期付き教員数を34人とする。            (参考2) 平成21年度の人件費総額見込み            4,774百万円(退職手当は除く)</p>	<p>○教員の人事は、中・長期的視点に立ち計画的な人材配置を行った。また、教員人事における客観性・透明性を高めるため、前年度分の人事計画から採用決定までの経過を大学ウェブサイトにより学内に公表した。</p> <p>○学長裁量枠を活用して、昆虫バイオメディカル教育研究センターと研究推進本部に新たに教員を配置した。</p> <p>○人事評価に基づき女性職員を係長に登用した。</p> <p>○技術職員の次世代育成につなげるべく、2名を採用した。</p> <p>○大学への貢献意識と豊富な知識・経験を有する事務系再雇用職員を組織化した「KITビューロー」を平成21年4月に立ち上げ、平成20年度中に整備した業務計画に基づき、入試広報業務などを実施した。</p> <p>○特任専門職制度により、優れた専門性を有する人材を有期雇用の専門職として5名を雇用した。</p> <p>(実績1) 平成21年度の常勤職員数 453人            うち任期付き職員数 33人</p> <p>(実績2) 平成21年度の人件費総額            4,548百万円(退職手当は除く)</p>